

# 滑材注入用 Wジョイント推進管

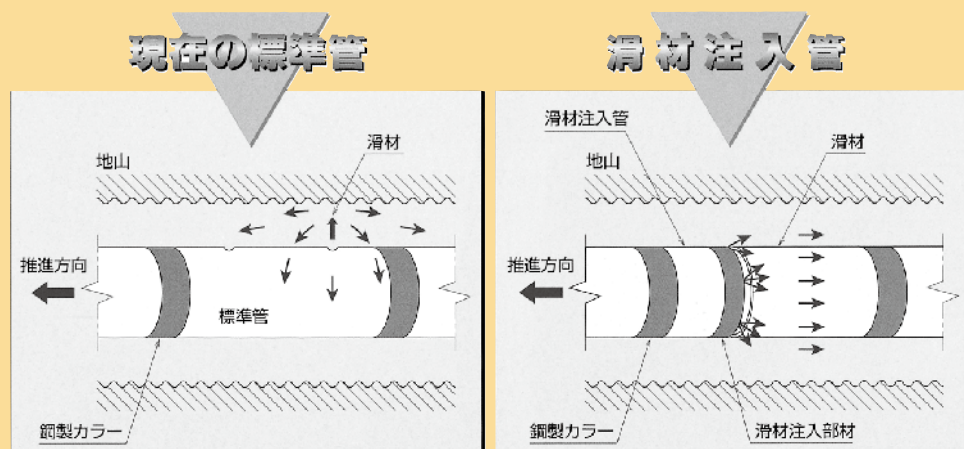
## 滑材注入用 Wジョイント推進管の特長

長距離推進において滑材の果たす役割は推力を低減し、より長距離化を図るという点で益々重要なものとなっております。

滑材注入管は、この滑材の性能を「より簡単に」「より有効に」引き出すために提案する滑材注入のために工夫されたWジョイント推進管です。

### ● 管内の注入孔は1ヶ所、管外の排出孔は円周上に複数配置しました。

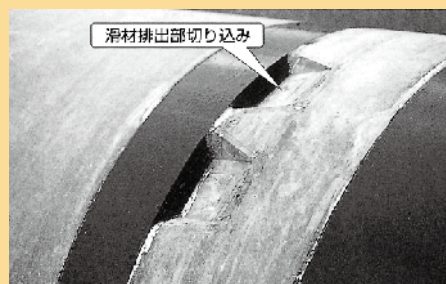
- 1 排出孔が円周上に複数ありますので、管外周全体に滑材を注入できます。
- 2 滑材排出部を斜め後方に向けてあるため、地山を乱す恐れが軽減されます。
- 3 排出孔の位置を変えるために立坑内で管を回転させるなどの作業は軽減されます。
- 4 管内の注入孔は現在の仕様と変わりありませんので、現在の設備が利用できます。



### ● 2つのタイプを用意しています。

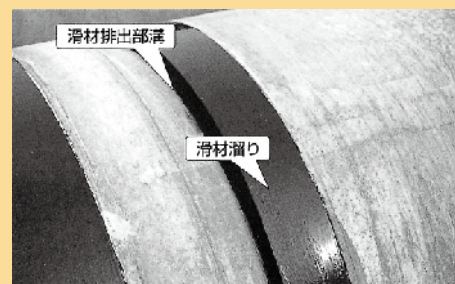
#### 【タイプA】

管外周面に部分的に切り込みを設けてその部分より滑材は管外面に添って排出されます。



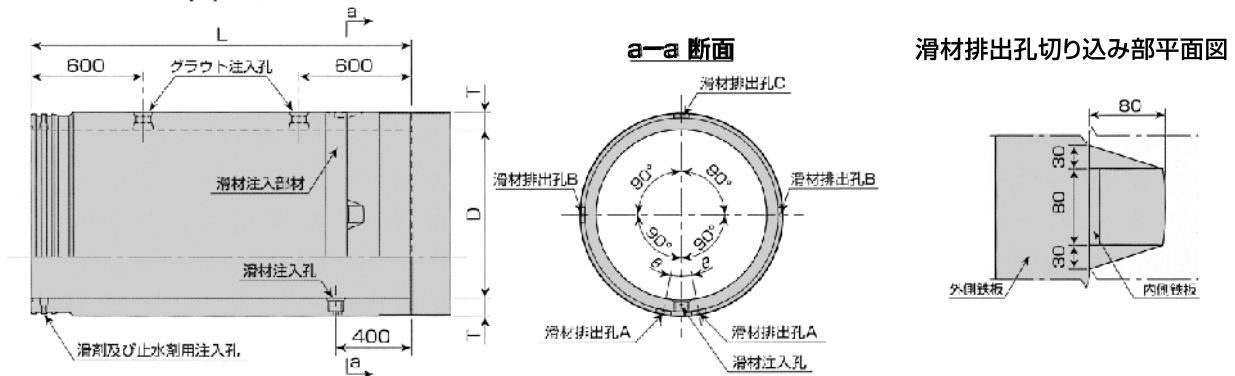
#### 【タイプB】

管外周面に全周に渡って溝を設けてあり、滑材はいったん溝部に溜りながら排出されます。

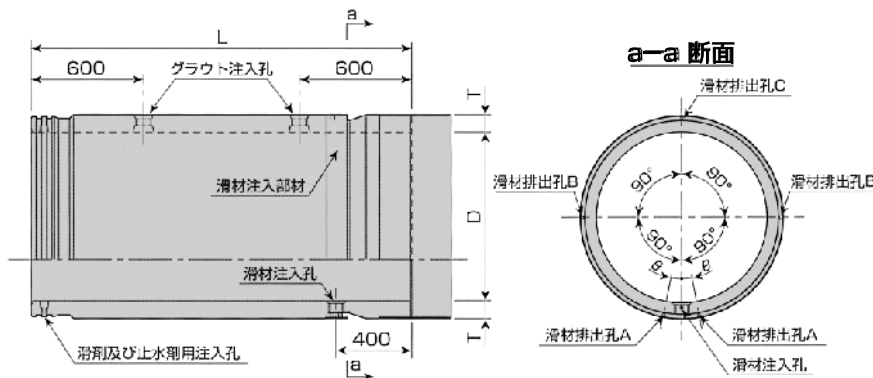


# 形状・寸法

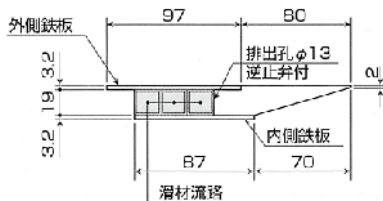
## 滑材注入管タイプA



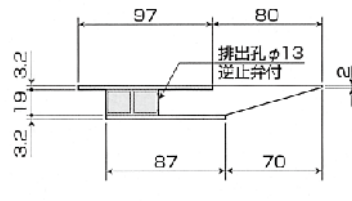
## 滑材注入管タイプB



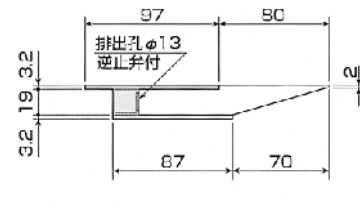
滑材排出孔A部断面図



滑材排出孔B部断面図



滑材排出孔C部断面図



(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	$\theta$ (°)
800	800	80	2430	10
900	900	90		
1000	1000	100		
1100	1100	105		
1200	1200	115		
1350	1350	125		7.5
1500	1500	140		
1650	1650	150		
1800	1800	160		
2000	2000	175		
2200	2200	190	5	
2400	2400	205		
2600	2600	220		
2800	2800	235		
3000	3000	250		

- (注) 1. ここに規定していない寸法については、各規格の標準管に準じます。  
 2. 有効長(L)は1200mmとすることができます。  
 3. 滑材注入部材の位置は有効長Lにかかわらず、原則として端部から400mmの位置です。  
 4. 滑材排出孔の数及び位置は、必要に応じて変えることができます。  
 ※小口径推進管についてはお問い合わせください。